

センシング事業の成長戦略

コニカミノルタ株式会社

執行役員 センシング事業部長 三上 健太郎

2026年10月14日

1. センシング事業の概要

2. 基盤領域

光源色計測と物体色計測

3. 成長領域

自動車外観検査と
ハイパースペクトルイメージング

4. 今後の戦略



1. センシング事業の概要

2. 基盤領域

光源色計測と物体色計測

3. 成長領域

自動車外観検査と
ハイパースペクトルイメージング

4. 今後の戦略





Beyond Our Vision

光と色のセンシング技術を駆使し、
顧客の高品質なものづくりと持続可能な社会に貢献

センシング事業が培ってきた計測機器・装置と価値提供する事業領域

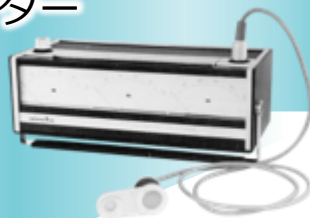
コニカミノルタの計測機器・装置

1968年にはスペースメーターが
アポロ8号に搭載

その後ディスプレイ技術の進化に合わせ
測光・測色技術を深化



スペースメーター



TVカラーアナライザー

基盤領域



光源色計測



物体色計測

成長領域



自動車外観検査

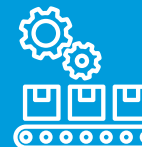


ハイパースペクトル
イメージング(HSI*)

対象の事業領域



ディスプレイ



製造業
(モノの色を測る分野)



自動車



リサイクル・
エネルギーなど

* HSI: Hyper Spectral Imaging 多数の波長毎の情報を可視化する技術

センシング事業の売上高と事業領域・技術強化の変遷

売上高 [億円]

500
400
300
200
100
0

FY11 FY12 FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23 FY24 FY25 FY26
(見込み)



KONICA MINOLTA

測光・測色技術

コニカミノルタが
培ってきた技術



KONICA MINOLTA Group

ディスプレイ
ハイエンド計測技術
+
ブランドオーナーへの
価値提供チャネル



ディスプレイ
高解像計測技術
+
ディスプレイ市場への
顧客提供価値拡大



自動車外観
検査技術
+
自動車市場への
顧客接点・提供価値拡大



ハイパースペクトル
イメージング計測技術
+
リサイクル・環境領域
への足掛かり

獲得した技術 + 顧客接点 + 提供価値

基盤領域の強化

成長領域への拡大

光を分析して
価値ある情報に変える**技術**



光・色を正確に測る

いつ誰がどこで測っても同じ結果

求められる速さで出力する



顧客のニーズを具現化し
課題を解決する力



ブランドオーナーの高レベルの
要望に応える開発力

幅広い顧客課題に応える
価値提案力

1. センシング事業概要

2. 基盤領域

光源色計測と物体色計測

3. 成長領域

自動車外観検査と
ハイパースペクトルイメージング

4. 今後の成長戦略



基盤領域



光源色計測



物体色計測

成長領域



自動車外観検査

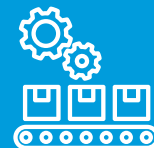


ハイパースペクトル
イメージング

対象の事業領域



ディスプレイ



製造業（モノの色を測る分野）



自動車



リサイクル・エネルギー
など

光源色 計測機器とは



ディスプレイなどの光源の
色・明るさ・ムラを計測

物体色 計測機器とは



さまざまな製品の
色み・光沢を計測

顧客のニーズ

いつ誰がどこで測っても正確であることが求められる

グローバル生産・調達
拠点で同じ計測結果

モノづくり拠点の
多様化への対応

開発と製造工程で
同じ計測結果

生産立ち上げ
リードタイム短縮

作業者に依存しない
計測結果

熟練技術者
減少への対応

時間や環境に影響
されない計測結果

長期間安定性・
信頼性の確保

ブランドオーナーやディスプレイメーカーの技術課題に応える計測装置を開発し、バリューチェーン全体に同じ『計測基準』を提供

開発例



自発光デバイスの進化から
低輝度計測のニーズを捉え開発

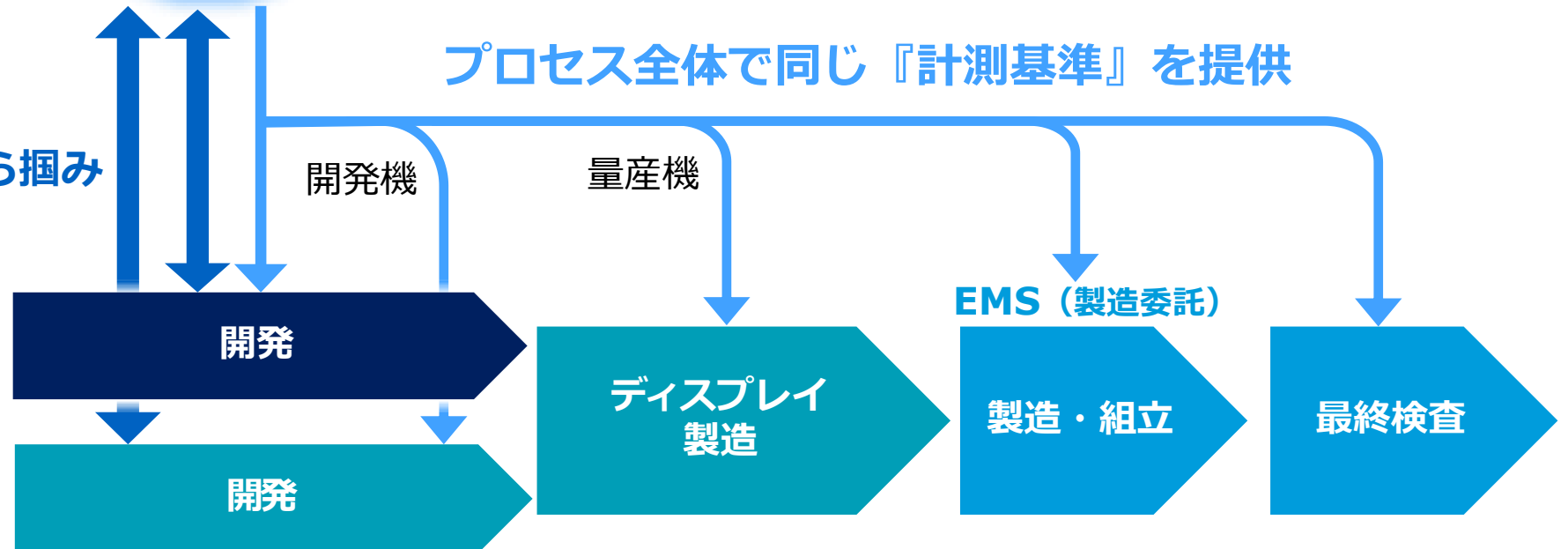
コニカミノルタ
グループ



プロセス全体で同じ『計測基準』を提供

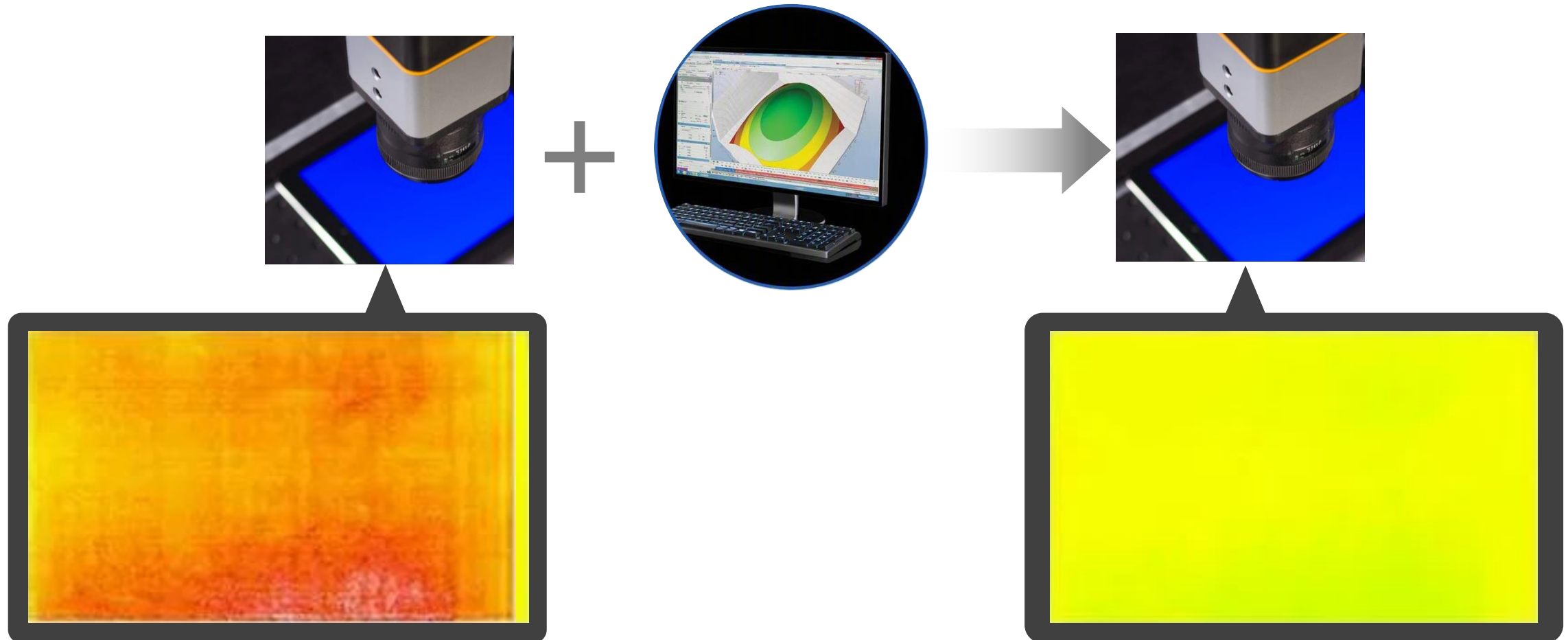
顧客のニーズを早期から掴み
計測装置を開発

ブランドオーナー
ディスプレイメーカー



基盤領域 | コニカミノルタの技術の強み : Demura (デムラ) 処理

ハードウェアによりディスプレイのムラを最小の画素単位で数値化
ソフトウェアでムラを補正し、顧客課題である量産工程での品質向上を支援



青色テスト画面を、識別性向上のため色を置き換えて表示

市場機会

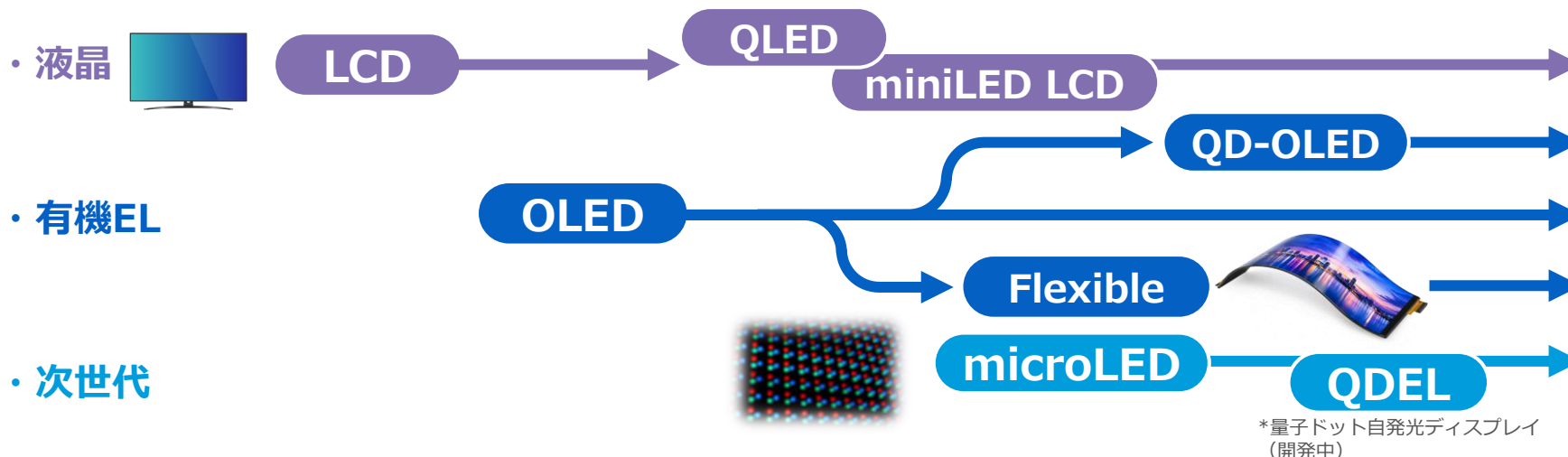
ディスプレイ技術、デバイス、仕様の進化に伴う光源色評価ニーズの継続拡大

戦略

インダストリー領域でアカウントマネジメント連携を強化し、No1シェアを維持

表示技術の進化

- 色再現性
広色域・HDR
- 高速応答性
残像低減
- 低消費電力
省エネ・長時間駆動
- 薄型化・自由度
曲面、透明



デバイスの多様化

- 多様な利用シーン
屋外、車載、ヘルスケア
- 機能/性能高度化
操作性、機能統合
- 新たな価値創出

- ・ TV/モニター
- ・ タブレット
- ・ スマートフォン
- ・ スマートウォッチ
- ・ AR/VR



顧客ニーズである「いつ誰がどこで測っても同じ計測結果」を実現する技術

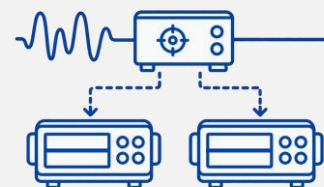
業界トップクラスの技術力

*1 機器ごとの測定値の個体差：BCRAシリーズⅡタイル12色の平均値

*2 白色校正後、白色校正板を10秒間隔で30回測定したとき

精度

ΔE^*ab
0.08以内*1

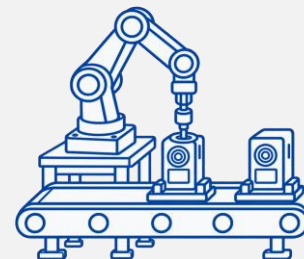


校正処理

顧客の要望に沿って
校正・補正できる信号処理

再現性

標準偏差
0.005以内*2

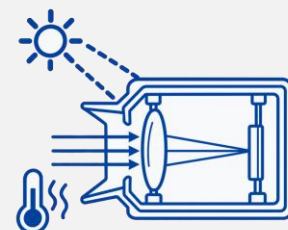


機構設計

熟練技術と自動化による
組立工程で器差を抑制

安定性

波長補正機能
長期安定稼働



光学設計

温度変化・環境光に強い
光学系設計力

市場機会

顧客のグローバル品質統一、工場間のデータ管理や計測自動化のニーズの高まり

戦略

ハイパースペクトルイメージングと連携し、テキスタイル・アパレル業界強化と専用ソフトウェアによるグローバル・データ管理で調色改善

物体色計測用途の拡大



活用例

塗料の色統合管理

色測定データを活用し
塗料の品質向上に貢献



提供価値の進化

物体色計測装置の提供

精度

再現性

安定性



ソフトウェア・サービスの提供

計測データ

顧客の調色改善・不良削減を支援

1. センシング事業概要

2. 基盤領域

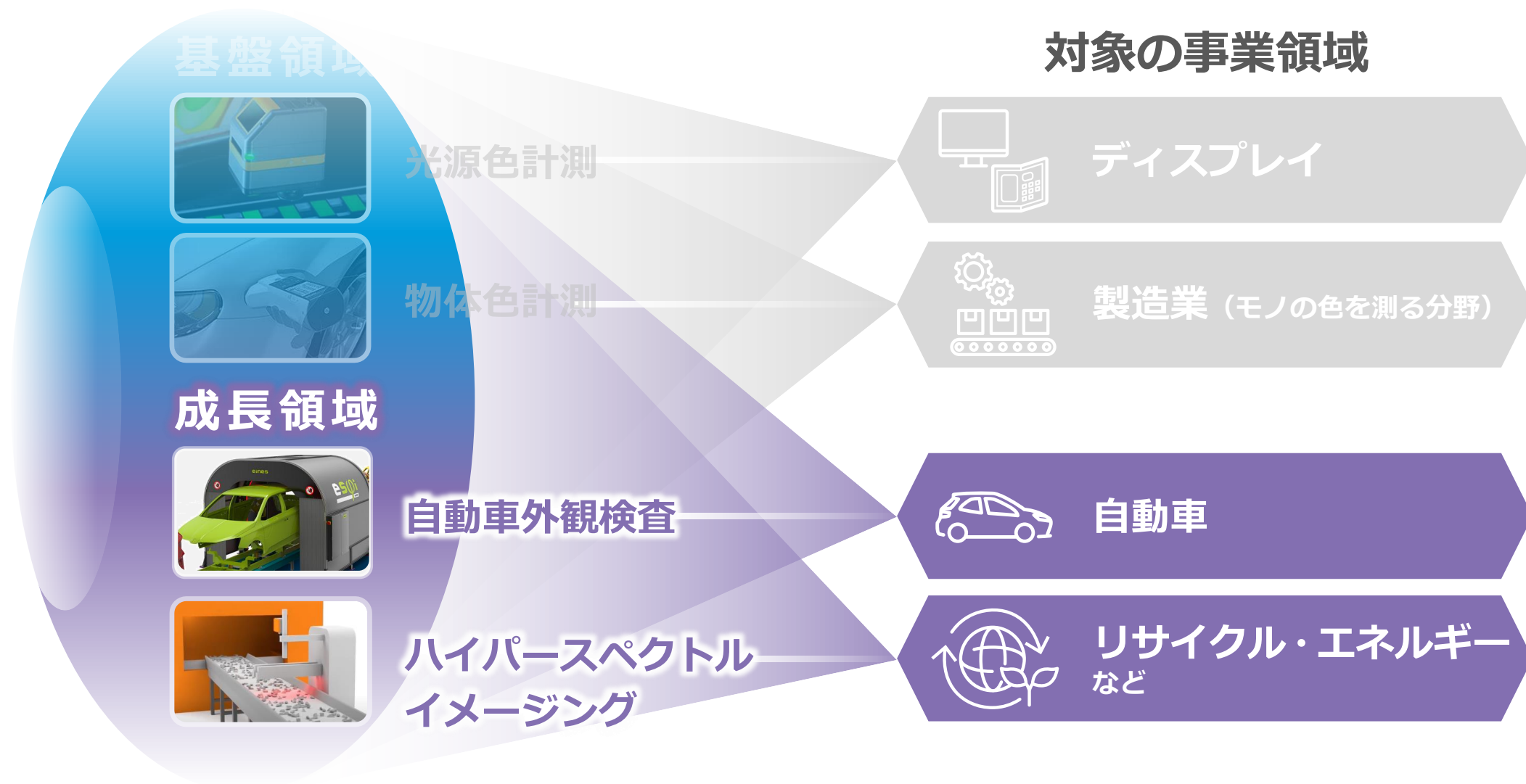
光源色計測と物体色計測

3. 成長領域

自動車外観検査と
ハイパースペクトルイメージング

4. 今後の成長戦略

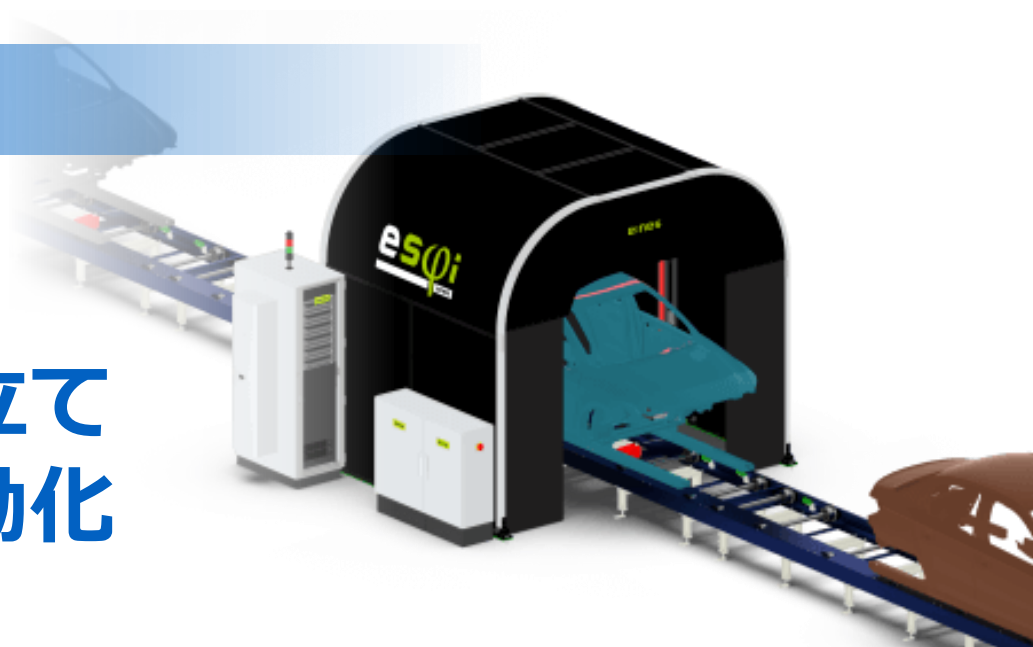




自動車外観検査装置とは

意匠性の高い、自動車車体の

**塗装欠陥・隙間段差・組み立て
検査から最終品質検査を自動化**



顧客のニーズ

微細な欠陥を素早く正確に見分けることが求められる

多様な車種・
デザイン・色に対応

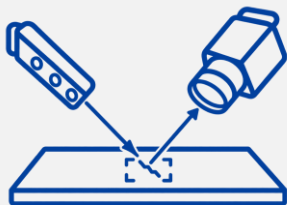
車体から微細な
欠陥等を検出

生産ラインの
安全性と速度に対応

熟練技能者に
依存しない

自動車の生産ラインの速度を止めずに、自動で欠陥を素早く正確に見分ける技術

精度



光学構造

独自のノウハウに基づく照明設計と反射光の変化から微小欠陥を捉える光学設計

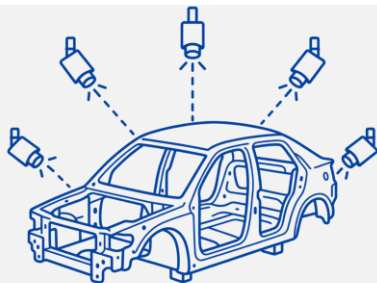
識別



欠陥識別

画像AIによる推論でサブミリメートル級の欠陥の種類を識別

高速化



同期撮影

インラインで4万枚/台の画像を死角なく撮影
高速化するライン速度に対応する開発力

成長領域 | 自動車外観検査 自動車業界全体への価値提供を拡充

トンネル検査機は最終検査向けAll-in-oneをFY25に上市、4機種へと拡張
部品メーカー向け検査機も導入

グローバル導入事例

複数製造工程で当事業の製品を導入、工程自動化に貢献

自動車製造工程

	プレス	溶接	塗装	組立	最終検査
外観検査	 Vision System for Press Shop Stage		 espi Sealer Check		 esdi All in One Tunnel
計測		 Hand Held Metrology eipis		 Hand Held Metrology eipis	 eipis + Spec Check

コニカミノルタグループ



自動車メーカーの課題に
検査装置を開発

自動車メーカー（生産技術部門）

自動車部品メーカー

成長領域 | 自動車外観検査の成長戦略

市場機会

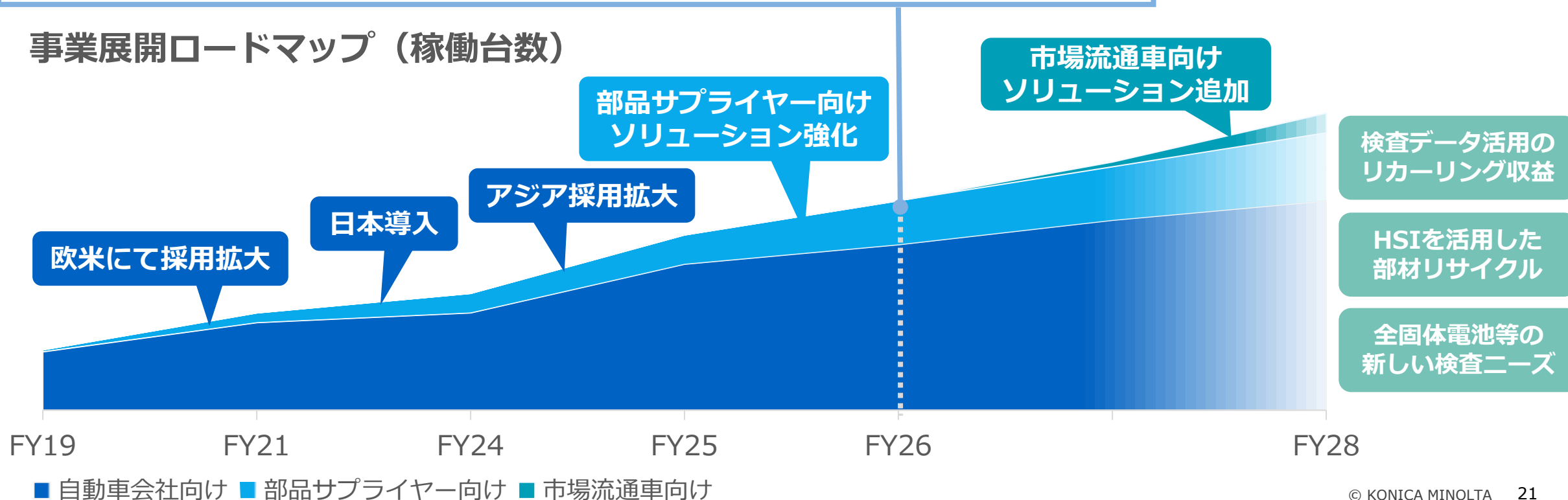
検査自動化ニーズや循環経済への対応の高まり

戦略

- ・ 新規顧客の開拓と既存顧客における異なるトンネル型検査機の導入拡大
- ・ 部品サプライヤーや市場流通車向けのソリューション展開を強化

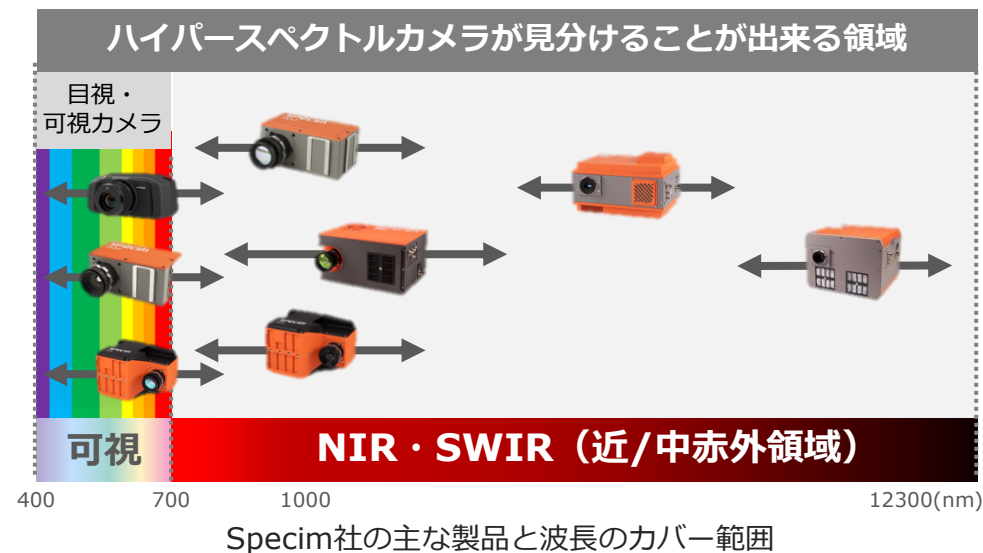
- ・ 米国の自動化ニーズ堅調、日本で複数社導入、インドで初受注など導入が加速
- ・ 情報機器事業の販売網活用により、東欧でホイール検査装置を受注

事業展開ロードマップ（稼働台数）



ハイパースペクトルイメージングとは

可視カメラでは見えない波長を捉え対象物の
素材・性質を識別



*1 実測データの出力形式は異なる

*2 様々な波長の吸収率の計測結果をもとにライブラリと照合し素材を識別

顧客のニーズ

多様な材質を見分けることが求められる

黒色・着色材の
素材を識別

素材の劣化状態を
識別

混合材・複合素材
への対応

人手をかけずに
大量処理

多様な素材・性質を見分ける技術を軸にグループとしてソリューション展開加速



KONICA MINOLTA

計測範囲

広帯域ハイパースペクトル

可視域から赤外(400~12,300nm)で情報を取得

状態把握

材質識別

樹脂・テキスタイル等の材質ライブラリを保有

高速化

多バンドでの波長計測

数nm単位・数百バンドの分光データを同時取得

顧客接点

グローバル顧客基盤の活用

新たなHSI活用価値の探索と顧客との共創推進

ソリューション

光学・画像処理技術とAI活用

業界・顧客課題に応じたソリューション展開

成長領域 | ハイパースペクトルイメージングの成長戦略

市場機会

鉱物採掘・次世代エネルギー・リサイクル・食品選別でのニーズの高まり

戦略

成長する産業用途に向けた事業開発、AI活用・ソリューションにより事業拡大

鉱石採掘

採掘事業者

南米などで
鉱物含有率の測定



ペロブスカイト太陽電池

太陽電池モジュール メーカー

塗布したペロブスカイト層
の膜厚を計測し品質管理



太陽光パネル

宮城県

劣化度合いの計測
による寿命予測



地質鉱物

農業植生

インテリジェント再生材

MJ MATERIAL TECHNOLOGY

廃プラ原料の選別に活用



既存

新規

食品選別

プラスチック
リサイクル

家電等*

三菱電機（株）

リサイクル樹脂材質
の識別

*開発・検証フェーズ



エネルギー

機能性材料

アパレル

繊維

GOLDEN LADY COMPANY

レッグウェアの
繊維リサイクル現場で素材を自動選別



成長領域 | ハイパースペクトルイメージング × AIの事例

市場機会

欧州リサイクル法規制の強化にともなうEPR（拡大生産者責任）の義務化

戦略

強みであるHSIにAIを掛け合わせたソリューションを欧州を軸に展開

顧客との共創

繊維

GOLDEN LADY
COMPANY社

レッグウェアの繊維
リサイクル現場で素材を自動選別



価値創出アプローチ



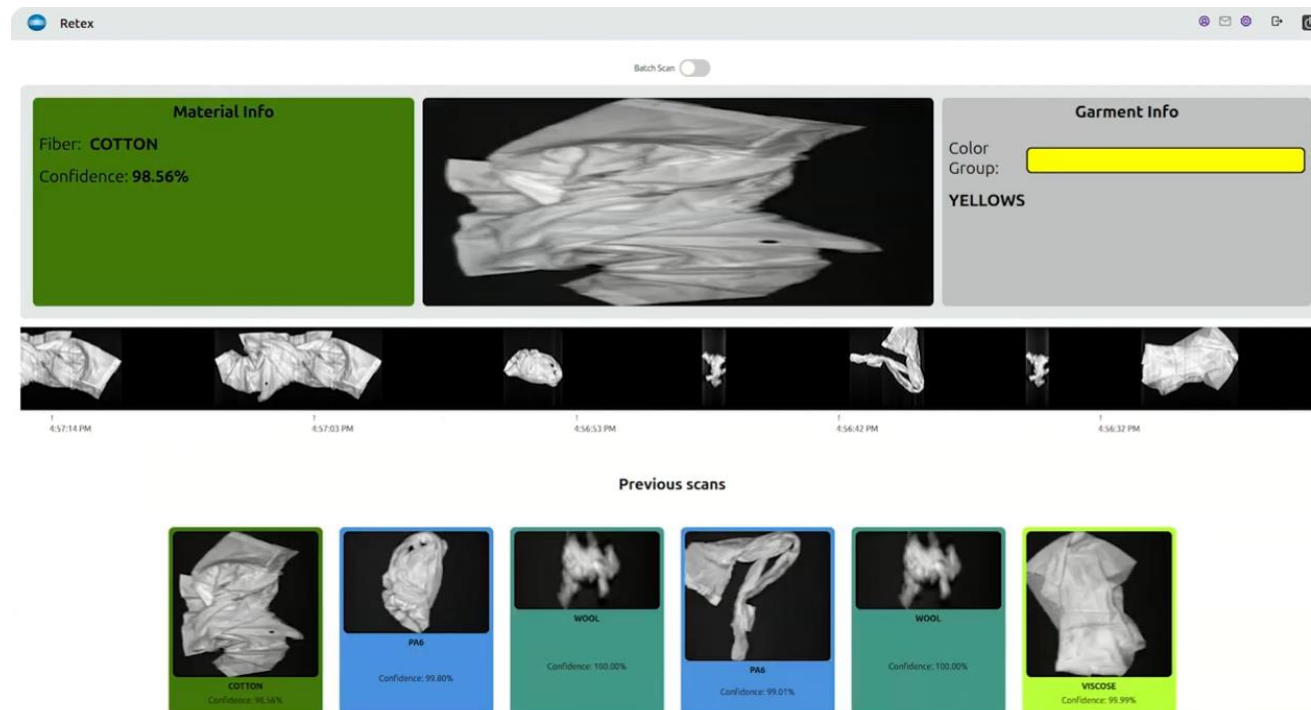
×



材質識別モデル



開発データ



参照 : [AI-Powered Textile Recognition in Practice | Specim RETEX](#)

1. センシング事業概要

2. 基盤領域

光源色計測と物体色計測

3. 成長領域

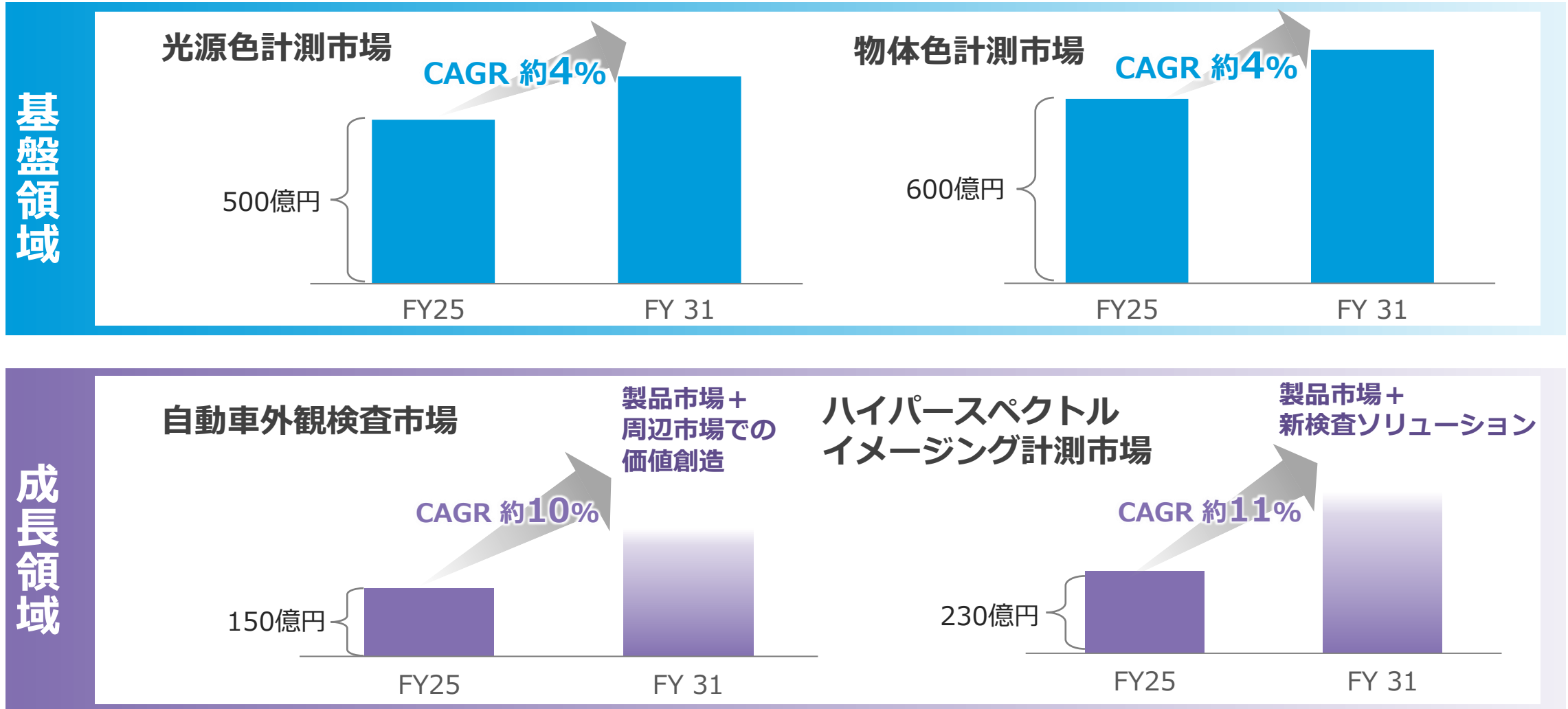
自動車外観検査と
ハイパースペクトルイメージング

4. 今後の戦略



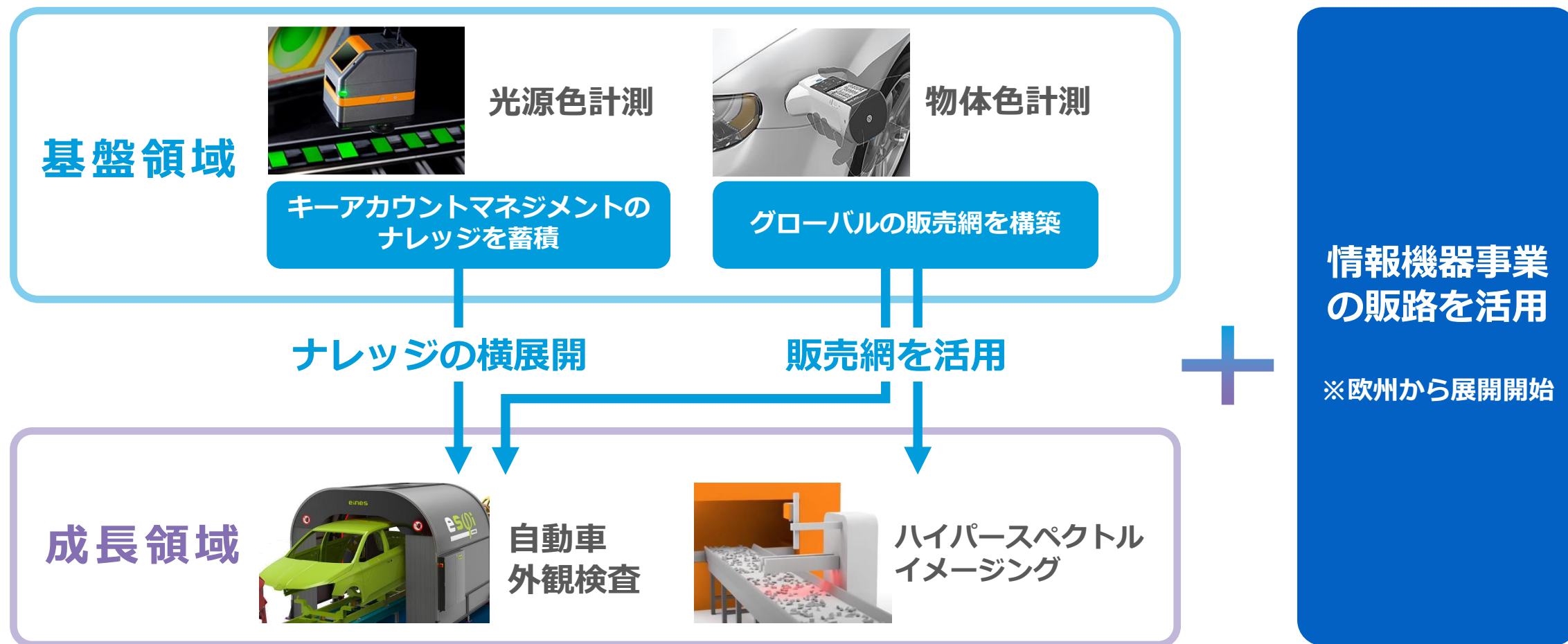
今後の戦略 | 基盤領域・成長領域の市場規模

基盤領域は安定成長、成長領域はハードウェア市場から価値を創造し
周辺領域・ソリューション展開を進め、高い成長を見込む



今後の戦略 | コニカミノルタグループが持つ知見・顧客基盤を活用

- ・ 基盤領域で培った技術の強み・開発力・顧客現場対応力を成長領域にも展開
- ・ 情報機器事業の販路活用・ソリューション提案力を強化し事業成長を加速

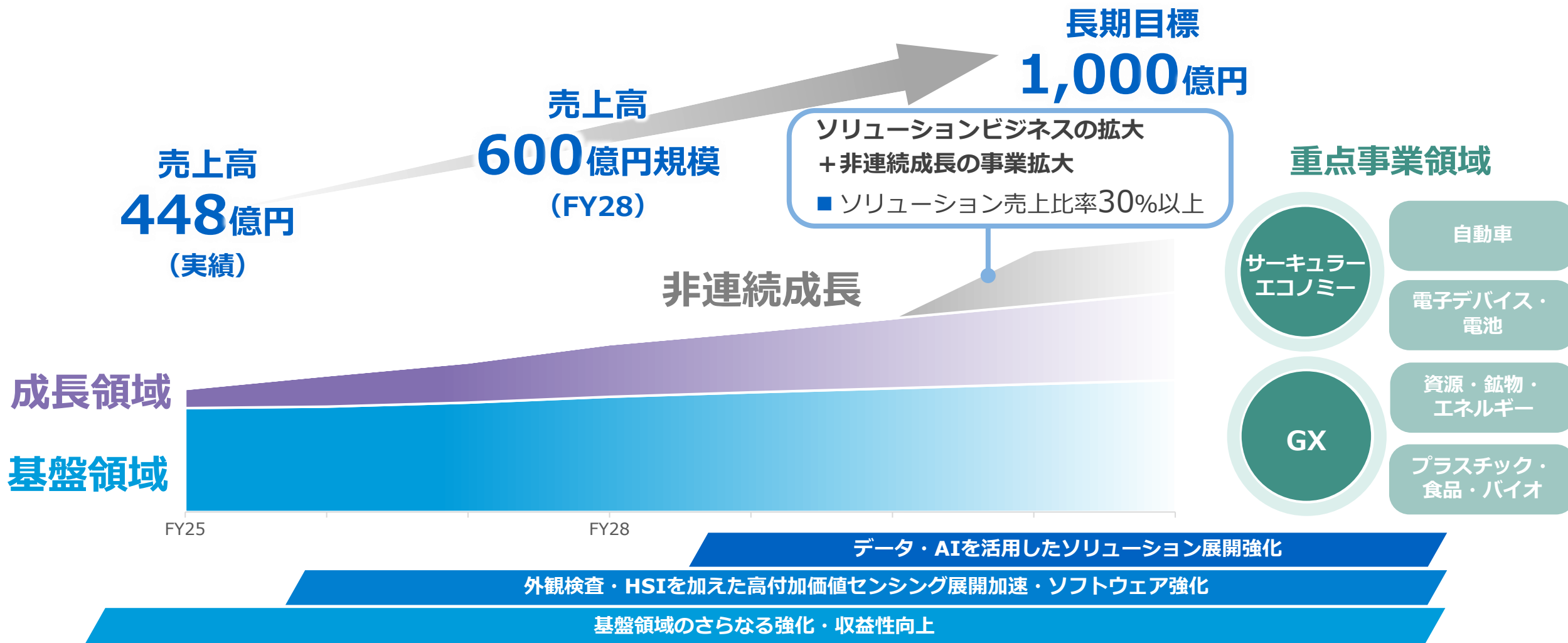


今後の戦略 | 技術強化によるソリューション展開



センシング事業の長期目標

基盤領域で安定的な収益を保ちつつ、
新たな産業用途を成長領域で開拓し、高い成長率による収益拡大を目指す





KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来予想に係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。